

# まちのトピックス

## 道下美里選手 東京2020パラリンピック競技大会 出場内定！

本市在住でリオ2016パラリンピック競技大会視覚障害女子マラソン競技銀メダリストである道下美里選手が、4月28日(日)にイギリス・ロンドンで開催された世界選手権で見事3連覇を達成されました。これにより、東京2020パラリンピックへの出場が内定し、6月13日(木)に太宰府市役所を訪問しました。

道下選手は、「練習で伴走のロープを持っていただいたり、声をかけてくださったり、太宰府市民の皆さんに支えられています。東京パラリンピックではリオでの雪辱を果たすために金メダルを獲ります！」と大会への意気込みを笑顔で語りました。



## 日之出水道機器(株)が図書購入費を寄付

6月13日(木)、日之出水道機器(株)から本年度も図書購入費として寄付金をいただきました。

平成6年から始まった寄付は今回で26回目となり、これまでにいただいた寄付総額は950万円になります。寄付金で購入した図書は、図書館入口を入ってすぐ右手の「ヒノデ文庫」コーナーを中心に配架されており、多くの皆さんに利用されています。

昨年度は『大宰府の研究』『福岡県人物・人材情報リスト』『世界歴史地名大事典』など、合わせて11冊を購入しました。



市民図書館の「ヒノデ文庫」コーナー

## 九州登山情報センター「山の図書館」15周年記念誌を作成

太宰府市内山の「九州情報センター」(愛称“山の図書館”)が、季刊で独自に発行している「山の図書館ニュース」全62号を合冊した創立15周年記念誌を作成し、6月20日(木)に市長に報告されました。

山の図書館は平成16年にオープンし、山岳資料の収集・保存・提供という「図書館」の役割はもちろん、宝満山登山者への道案内なども行う「案内所」として、地元の人をはじめ観光客にも親しまれています。

センター理事長の重藤秀世さんは「全国的にも“山の図書館”は数が少なく、本センターはとて有名。資料の保存や管理の困難さなどの課題もあるが、今後も登山文化振興のために活動していきたい」と報告されました。

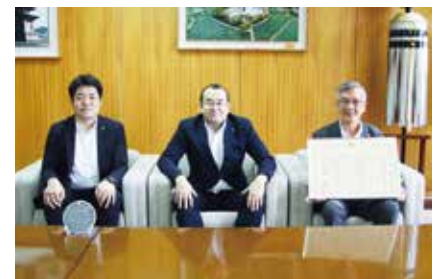


## 油機エンジニアリング(株)が「はばたく中小企業」に選定

経産省が模範的な中小企業を選定する「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に、太宰府市に本社を置く油機エンジニアリング(株)が選ばれ、6月25日(木)に市長に報告しました。3つの選定分野のうち、「担い手確保」の分野で選定された企業は、県内で同社のみです。

同社は、建設機械のレンタルや販売、修理などを行っています。外国人を採用し社内の活性化を行った点や、次世代への事業継承を見据え、組織の整理などを実施した点などが評価されました。

牧田尚起社長は「社員にいろいろな活動を経験させたり、オリジナルの目標管理・成長シートなどの取り組みが評価され、うれしい。励みになる」と述べました。



賞状を手にする  
牧田隆会長(写真右)と尚起社長親子